

25mm

発表番号が入るため、横30mm×縦10mmの余白をとる

地すべり学会発表要旨の見本(H21年度改訂版)

Style sample for proceedings of the general meeting of Japan Landslide Society

地すべり太郎 (〇〇大) * 学会花子 (△△大)

Taro JISUBERI (〇〇 Univ.), Hanako GAKKAI (△△ Univ.)

キーワード：地すべり、大会、要旨集、マニュアル

Keywords: Landslide, General meeting, Proceedings, Manual

当日の講演者名の右肩
に*印を付ける

20mm

20mm

1. 全般について

- 1). この版下原稿作成方法の見本は第 1 ページのものである。第 2 ページは全面を文章・図表とする。
- 2). 原稿はA 4 縦置き横書きとし、全体で 1 ページまたは2 ページとする。
- 3). 原稿はワープロなどで作成し、そのまま印刷ができる状態となるように仕上げる。
- 4). 余白は上下端より 25mm、左右端より 20mm を確保し、文字や図表は余白にはみ出さないようにする。はみ出しがある版下原稿は受理できない。
- 5). ページ当たりの行数は 50 行前後とする。

2. 表題等について

- 6). 第 1 ページ目の先頭部分に、表題、氏名（所属）、キーワードを行を変えて記載する。
- 7). 表題等の部分は段組無し（1 段組）とし、中央揃えする。
- 8). 文字のサイズは表題が 14 ポイント、それ以外は全て 10 ポイントとする。なお活字の天地を表すポイントの大きさは、1 ポイントを 0.3514mm としてこれにポイント数を掛けた値である。英文の場合は表題のポイントを下げ、文字数や行数を若干増やすことが好ましい。
- 9). 氏名（所属）の下に、4 ～ 6 語のキーワードを記す。
- 10). 和文の場合、表題、氏名（所属）、キーワードのそれぞれに改行の後に英文を合わせて記載する。
- 11). 表題の左に発表番号を印刷するので、ページ余白の内側に横 30mm、縦 10mm のスペースを必ず残す。
- 12). キーワードの下に約 1 行分の空白を空ける。

3. 本文について

- 13). 和文の場合、本文は横書き 2 段組とする。片段の 1 行あたりの文字数は 20 ～ 22 文字とし、文字サイズは全て 10 ポイントとする。
- 14). 本文が英文の場合には 1 段組でもよい。
- 15). 大きな図表が必要な場合には、2 段組の場合でも両段に跨ってもよい。

- 16). 原稿にカラー写真を貼り付けることも出来るが、印刷は白黒となる。その場合写真に書き加える文字や線は白黒印刷で判別できる色にする。
- 17). その他、参考・引用文献、脚注の書き方は、地すべり学会誌の執筆要領に準ずる。

4. 投稿方法について

- 18). 作成した原稿は、別途指定する送付先に指定する方法で、電子ファイルとして投稿する。
- 19). 電子ファイルはそのまま印刷されるため、投稿前には必ず、紙に出力した状態でそれが適切であることを確認する。
- 20). 電子ファイルの大きさ等の問題で電子ファイルで投稿出来ない場合は、A4 上質紙に明瞭に印刷された版下原稿を、別途指定する送り先に郵送にて投稿しても良い。
- 21). 印刷した版下原稿を郵送する場合には、版下原稿正本 1 部とコピー 1 部の合計 2 部を提出する。その場合鉛筆書きにて正本を指定すること。正本はクリップ留めとする。郵送する際には原稿が折れ曲がらないよう配慮する。郵送による版下原稿も含めて提出された投稿原稿は原則として返却しない。

5. その他

- 22). 口頭発表、ポスター発表のどちらの場合でも同様に当該要領に従って原稿を作成し投稿する。
- 23). 前述の講演要旨作成要領、学会ホームページに掲載される情報なども参考に作成する。
- 24). 不明点などがあれば学会事務局へお問い合わせ下さい。

25mm

ページが入るので必ず空ける